



## 「ポストコロナを見据えて」

中国経済産業局長 瀨上 善弘

令和3年の新春を迎え、謹んでお慶び申し上げます。

東京オリンピック・パラリンピック開催の期待を胸に始まった令和2年は、新型コロナウイルス感染拡大により大きな変化を余儀なくされた激動の年となりました。ライフスタイルや働き方など当たり前だと思われてきた常識が一変し、新しい生活様式や従来にないビジネス、これまで気がつかなかった新たな価値観などが登場しています。

中国地域に目を向けますと、足下の経済動向は緩やかに持ち直しの動きがみられるものの、新型コロナウイルス感染拡大により中小企業・小規模事業者は依然として厳しい状況にあります。さらなる感染拡大が懸念されている中、感染対策を講じつつ社会活動経済レベルを引き上げなければなりません。

当省では、感染拡大により大きな影響を受けている事業者の方々への対応として、事業の継続を支え再起の糧としていただく持続化

給付金、資金繰り支援を強化するための実質無利子・無担保融資をはじめ、地代・家賃の負担軽減を目的とした家賃支援給付金など様々な支援を重点的に行ってまいりました。未だ先行き不透明な状況ではありますが、引き続き事業者に寄り添った支援を積極的に行ってまいります。

一方、当省ではウィズコロナの新しい社会に期待される取組も重点的に進めてまいります。デジタルを活用した新たなビジネスモデルへの転換として、大容量・低遅延・同時多接続の特性を備えた次世代ソフトウェアの技術開発、企業経営におけるデジタル・トランスフォーメーションの加速等を支援します。さらに、停滞している日本経済の再興を図るため、製造業のサプライチェーンの強靱化、中小企業の生産性向上や、経営資源引継ぎによる新陳代謝を促進する施策を講じてまいります。

併せて、地域経済の活性化と一極集中の是正に向けて、デジタルを活用した地域企業・産業の競争力を強化するとともに、若者を中心とした人材の地方移動支援等による新たな人流を創出します。さらに、観光、農業など成長が期待される地域資源の活用を通じて地域経済の持続的発展に全力で取り組んでまいります。

さて、昨年10月、首相の所信表明演説にて「2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする」との宣言があり、世界的な注目を集めました。政府は、成長戦略の実行計画の中で2050年カーボンニュートラルに向けたグリーン社会の実現を盛り込み、温暖化対策と経済成長の両立に挑戦しています。このような中、当省ではイノベーションの加速と社会実装を見据えた対応策として、脱炭素化の深化へ向けた取組を一層強化してまいります。高効率石炭火力の実働に向けた設備導入、需要側（モビリティ、工場等）における電化、カーボンリサイクルの推進等を通じて脱炭素化に向けたエネルギー転換・省エネを促進し「再生可能エネルギー型の経済社会」を創造します。また、プラスチックの有効利用のための制度整備・リサイクル技術の開発支援等により循環経済への転換を進めてまいります。

2050年カーボンニュートラルの実現は、エネルギー供給のみならず我が国の産業構造や資金循環など経済社会全体の変革をもたらすものであると考えます。既存の技術を最大限に活用し、新たな技術の社会実装に重点的、計画的に取り組むことが重要です。当局といたしましても、中国地域における本取組の展開に尽力してまいります。

す。

今年の夏には東京オリンピック・パラリンピックの開催が予定されています。十干十二支の「辛丑（かのとうし）」にあたる今年は「地道に力を磨いて成功をつかむ年」という意味を持つそうです。まさに本大会がコロナ禍を乗り越える大きな希望となり、人々が努力を積み重ねることで人類が疫病に打ち勝った証になることを願っています。

最後になりましたが、新型コロナウイルスの1日でも早い終息をお祈りするとともに、新しい年が皆様にとって飛躍の年となるよう祈念いたしまして、新年の御挨拶とさせていただきます。